

## DCT-WR100D

### 取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

**免責事項について**  
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

- 本製品は、自家用乗用車（普通・小型四輪車、軽四輪車）専用です。
- Wi-Fi<sup>®</sup>機能の正常な動作のため、本体が進行方向に対して水平または垂直になるように取り付けてください。車両の特性上、取り付け角度が傾いてしまう場合は、水平または垂直に対して、傾き 20° 以内の角度で取り付けてください。
- 本機をはじめとお使いになるときは、本機を起動してインジケータが赤色で点滅してから docomo in Car Connect の利用登録およびチャージを行ってください。  
→ **「はじめにお使いになるときは」**

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>  
「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS 一部の IP 電話などからは、ご使用になれません。  
携帯電話・PHS からは、ナビダイヤル、または IP 電話をご利用下さい。(通話料がかかります)  
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただいておりますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

**カスタマーサポートセンター** ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご利用ください。

■お客様サポートサイト  
<https://pioneer.jp/rd/support/>

■電話  
《スマートデバイス関連商品》※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください  
【固定電話から】 **0120-993-032** (無料)      【携帯電話・PHS から】 **050-3820-7547** (IP 電話・有料)  
または 05 70-037-605 (ナビダイヤル・有料)

■ファックス **0570-037-602** (ナビダイヤル・有料)

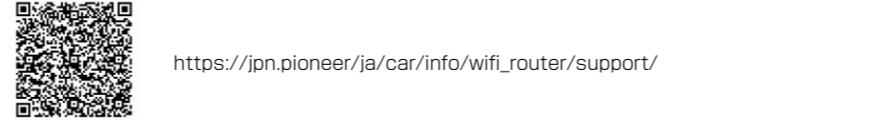
令和2年10月現在      記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。      VOL.10

パイオニア株式会社  
〒113-0021      ©パイオニア株式会社 2023  
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート      < KFWZ23C > < 139040200355 >

## 専用サポートガイド

本書で説明している以下の項目については「専用サポートガイド」もあわせてご利用ください。

- UIM カードの有効期限と docomo in Car Connect の利用期間の確認方法
- 動画マニュアル
  - ・ はじめてお使いになるときは
  - ・ Wi-Fi 機能の動作
  - ・ docomo in Car Connect の登録とチャージ
- 付属の UIM カードの有効期限経過後の継続利用方法
- オナーズリンク登録方法



## 安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	<b>危険</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
	<b>警告</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	<b>注意</b>	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意 (警告を含む) しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止 (やってはいけないこと) の内容です。		

## ■ 本機、ドコモ UIM カード (共通)

### 接続・取り付け

#### 警告

取り付けやアース配線に、保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットを使用しない。制御不能や発火、交通事故の原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない。電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。交通事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付ける。説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コード類は運転操作を妨げないように引き回し固定する。ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと、事故の原因となります。

付属の部品を使用し、固定する。付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する。正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ (ごみ、ほこり、油) などを取り除き、しっかりと取り付ける。走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態 (接着やねじのゆるみなど) を点検してください。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない。内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

分解や改造をしない。交通事故や火災、感電の原因となります。

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない。製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない。熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

本機を不安定なところに取り付けない。落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

シガーライタープラグを確実に挿入する。挿入が不十分だと火災、感電の原因となります。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。アクセサリーソケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

### ■ 本機、ドコモ UIM カード (共通)

#### 警告

運転者は走行中に操作をしない。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

液体で濡らさない。発煙、発火、感電の原因となります。

本機のカードスロットカバーに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れない。火災・やけど・けが・感電などの原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機を使用しない。電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。※ご注意ください。電子機器の例: 補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・その他の自動制御機器など

シガーライタープラグ挿入中はソケットを回したり押し込んだりしない。接触不良により火災や故障の原因となります。

分解や改造をしない。交通事故や火災、感電の原因となります。

### ■ 本機、ドコモ UIM カード (共通)

#### 禁止

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない。製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない。熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

本機を不安定なところに取り付けない。落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

シガーライタープラグを確実に挿入する。挿入が不十分だと火災、感電の原因となります。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。アクセサリーソケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

#### 禁止

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。アクセサリーソケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

### ■ 本機、ドコモ UIM カード (共通)

#### 警告

運転者は走行中に操作をしない。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

液体で濡らさない。発煙、発火、感電の原因となります。

本機のカードスロットカバーに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れない。火災・やけど・けが・感電などの原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機を使用しない。電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。※ご注意ください。電子機器の例: 補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・その他の自動制御機器など

シガーライタープラグ挿入中はソケットを回したり押し込んだりしない。接触不良により火災や故障の原因となります。

分解や改造をしない。交通事故や火災、感電の原因となります。

#### 警告

運転者は走行中に操作をしない。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

液体で濡らさない。発煙、発火、感電の原因となります。

本機のカードスロットカバーに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れない。火災・やけど・けが・感電などの原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機を使用しない。電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。※ご注意ください。電子機器の例: 補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・その他の自動制御機器など

シガーライタープラグ挿入中はソケットを回したり押し込んだりしない。接触不良により火災や故障の原因となります。

分解や改造をしない。交通事故や火災、感電の原因となります。

#### 警告

運転者は走行中に操作をしない。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

液体で濡らさない。発煙、発火、感電の原因となります。

本機のカードスロットカバーに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れない。火災・やけど・けが・感電などの原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機を使用しない。電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。※ご注意ください。電子機器の例: 補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・その他の自動制御機器など

シガーライタープラグ挿入中はソケットを回したり押し込んだりしない。接触不良により火災や故障の原因となります。

分解や改造をしない。交通事故や火災、感電の原因となります。

#### 禁止

シガーライタープラグを確実に挿入する。挿入が不十分だと火災、感電の原因となります。

#### 禁止

シガーライタープラグを確実に挿入する。挿入が不十分だと火災、感電の原因となります。

#### 注意

本機は自動車用途以外で使用しない。発煙や発火、感電やケガの原因となります。

本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない。落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない。故障や火災の原因となります。

シガーライタープラグを濡らしたり汚したりしない。火災、感電の原因となります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。

温度の上昇に注意する。本機やシガーライタープラグは、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

必ず規定容量のヒューズと交換する。専用のシガーライタープラグのヒューズが切れているときは、新しい標準管ヒューズ (直径 6.35 mm/長さ 30 mm) に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ (2 A/250 V) と交換してください。

#### 注意

温度の上昇に注意する。本機やシガーライタープラグは、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

必ず規定容量のヒューズと交換する。専用のシガーライタープラグのヒューズが切れているときは、新しい標準管ヒューズ (直径 6.35 mm/長さ 30 mm) に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ (2 A/250 V) と交換してください。

#### 警告

温度の上昇に注意する。本機やシガーライタープラグは、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

必ず規定容量のヒューズと交換する。専用のシガーライタープラグのヒューズが切れているときは、新しい標準管ヒューズ (直径 6.35 mm/長さ 30 mm) に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ (2 A/250 V) と交換してください。

#### 警告

温度の上昇に注意する。本機やシガーライタープラグは、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

必ず規定容量のヒューズと交換する。専用のシガーライタープラグのヒューズが切れているときは、新しい標準管ヒューズ (直径 6.35 mm/長さ 30 mm) に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ (2 A/250 V) と交換してください。

#### 警告

温度の上昇に注意する。本機やシガーライタープラグは、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

必ず規定容量のヒューズと交換する。専用のシガーライタープラグのヒューズが切れているときは、新しい標準管ヒューズ (直径 6.35 mm/長さ 30 mm) に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ (2 A/250 V) と交換してください。

### ■ ドコモ UIM カード

## 使用方法

#### 注意

ドコモ UIM カードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えない。故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

#### 禁止

ドコモ UIM カードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えない。故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

#### 禁止

指定以外のドコモ UIM カードを使用しない。指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

## お願いとご注意

### ■ご利用にあたって

● 本端末は電波を利用しているため、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネルなどでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

● 本端末に貼つてあるラベルは、法的認証を証明するものですので、ラベルは剥がさないでください。また、汚したり、消したりしないでください。

● 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損失を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。

・ 誤った使い方をしたとき

・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき

・ 動作中に電源を切ったとき

・ 故障したり、修理に出したとき

● 爆発物を取り扱う場所、その周辺では本端末を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。

● 本端末で利用するドコモ UIM カードは、他の端末でのご利用を禁止しております。他の端末でのご利用が判明した場合は予告なく通信を停止、契約の解除をいたします。

## お取り扱いについて

### ■ドコモ UIM カードについてのお願い

● ドコモ UIM カードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

● IC 部分はいつもきれいな状態でご利用ください。

● IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの損失・故障の原因となります。

● ドコモ UIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障・破損の原因となります。

● ドコモ UIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。故障・破損の原因となります。

● ドコモ UIM カードにラベルやシールを貼った状態で、本機に取り付けしないでください。故障の原因となります。

### ■ドコモ UIM カード

## 使用方法

#### 注意

ドコモ UIM カードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えない。故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間

### 修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

### 保証期間中の修理

#### について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

### 保証期間経過後の

#### 修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 車からの脱着

#### (お取り外し・お取り付け)

#### について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店、または取付店にご相談ください。

弊社は、本機の補修用性能部品の、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ただし、他社の提供サービス状況や運営方針により最低保有期間よりも前にサービスを終了する場合があります。

本機に関するご質問、ご相談はバイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## ご質問、ご相談は

# 本書の見かた

表記	意味
	取り扱いで注意していただきたいことや、本機の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
メモ	操作する上でのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
[○○]	画面に表示される選択項目を表します。
→ [○○○○]	参照していただきたい箇所や設定項目を表します。

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

# 使用上のご注意

- PIN・PINロック解除コードには対応しておりません。
- UIMカードへのメモリダイヤルの登録・メッセージなど各種データ保存には対応しておりません。

## ⚠ 本機取り扱いに関するご注意

- 運転者は走行中に操作しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- 60℃以上の高温または-10℃以下の低温、および湿度の高い場所では本機を使用しないでください。
- 必ず付属のシガーライター電源ケーブルを使用してください。
- シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間をおいて熱が冷めてからシガーライター電源ケーブルを挿入してください。

## ⚠ 電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく省電力データシステム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときには無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。

- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
  - ・分解 / 改造する。
  - ・本機に貼ってある証明シールをはがす。

- 本機の無線機能は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器(電子レンジ、無線LAN機器など)が使用しているので、電波の干渉により無線機能の接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本

機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

- ・無線LAN機器を利用したAV機器、防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、接続が途切れたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

- その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
  - ・火災報知器、ワイヤレスAV機器(テレビ、ビデオ、コンピューターなど)
  - ・工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - ・マイクロ波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - ・自動ドア、万引き防止システム(書店、CDショップなど)

- ・自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS(道路交通網システム)
- ・アマチュア無線局など

- ・自動ドア、万引き防止システム(書店、CDショップなど)

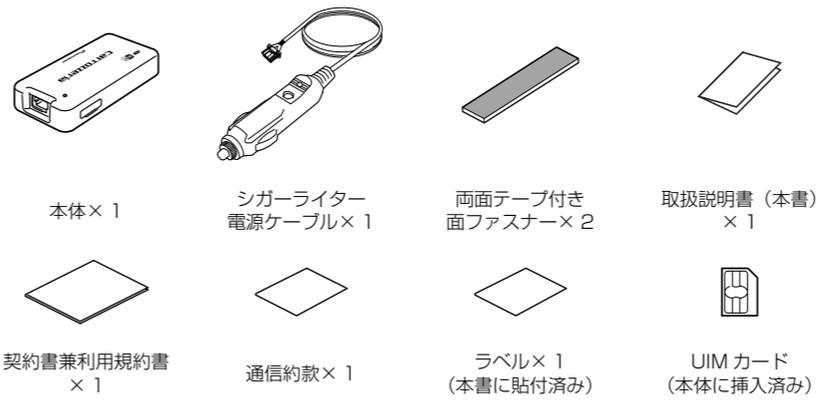
- ・自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS(道路交通網システム)

- ・アマチュア無線局など

- ① 2.4 GHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② DS-SS方式およびOFDM方式を表します。
- ③ 想定される干渉距離(約20m)を表します。

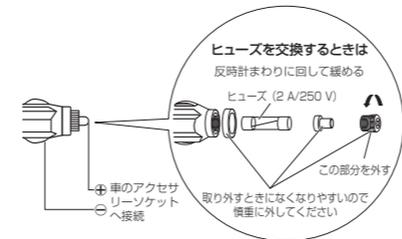
- ■ ■ ■ 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

# 付属品を確認する



## ヒューズを交換するときは

付属のシガーライター電源ケーブルを接続しても、電源が入らない場合は、ヒューズ切れを確認してください。



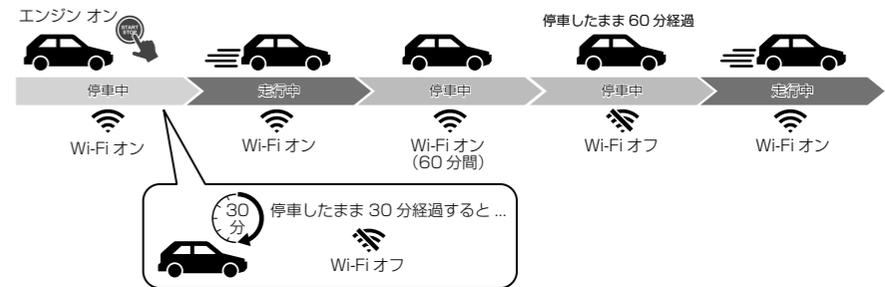
**⚠ 注意**  
ヒューズが切れているときは、新しい標準管ヒューズ(直径6.35mm/長さ30mm)に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ(2A/250V)と交換してください。

# 本機の特長 <必ずお読みください。>

本製品は、自家用乗用車(普通・小型四輪車、軽四輪車)への設置を前提とした車載専用の通信機器です。走行状態を検知し、車載であることを判断した上でWi-Fi機能をオンにします。

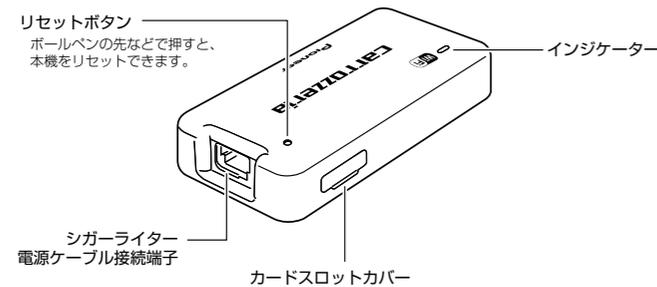
## Wi-Fi機能の動作条件

- 購入後の初回起動時または前回乗車時に走行した場合は、エンジン始動後、走行するまでの30分間はWi-Fi機能がオンになります。この間はエンジンをオフ/オンしても、30分という時間は変わりません。停車したまま30分が経過すると、エンジンがオンでもWi-Fi機能がオフになります。
- 走行を開始すると、Wi-Fi機能がオンになります。その後、停車し、停車したまま60分が経過すると、Wi-Fi機能がオフになります。



- メモ**
- オンラインゲームなどお楽しみいただくコンテンツによっては、通信の仕様上、再生できない場合もあります。
  - 電源オンの状態で車外に持ち出した場合や停車中に衝撃を検知した場合は、Wi-Fi機能がオフになります。
  - エンジンをオンにして本機が起動した直後は、Wi-Fi接続できるようになるまでに時間がかかる場合があります。
  - 本機が走行状態を判定するまでに時間がかかる場合があります。また、実際には走行中でも走行状態と判定されない場合があります。
  - Wi-Fi接続を行う際は、インジケータで本機の状態を確認してください。→「本機の状態表示」
  - 停車中にWi-Fi機能がオンになる時間(30分または60分)は、変更になる場合があります。
  - ファームウェアは自動で更新されますが、ファームウェアが最新でない場合、Wi-Fi機能を利用できません。
  - ファームウェア更新中は、通信速度が遅くなる場合があります。

# 各部の名称



# 本機の状態表示

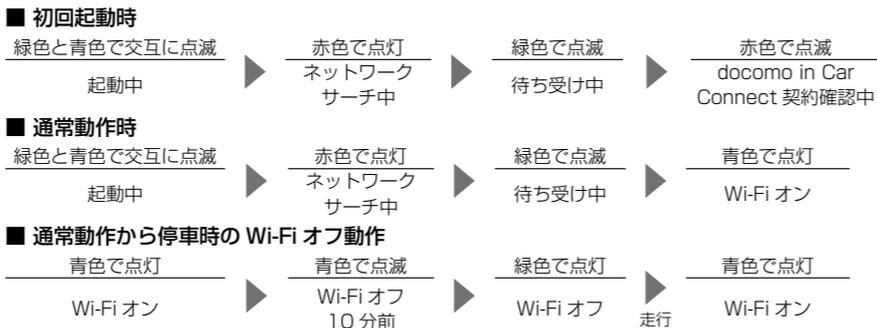
インジケーターの色や点灯・点滅によって本機の状態を表します。

点灯パターン	状態
緑色と青色で交互に点滅	起動中
緑色で点滅	待ち受け中
赤色で点灯	未接続 / 圏外状態 / ネットワークサーチ中 / UIM 有効期限外
赤色で点滅	UIM カード未挿入、docomo in Car Connect 有効期限外 (チャージ前 / チャージ切れ)、認証エラー
青色と赤色で交互に点滅	ファームウェア更新中
青色で点灯	Wi-Fi 機能オン
青色で点滅	停車状態の一定時間経過による Wi-Fi オフの 10 分前
緑色で点灯	Wi-Fi 機能オフ
消灯	電源オフ

## 各動作時のインジケーターの状態

本機の動作にともなって、インジケーターの状態が次のように変化します。

凡例： インジケーターの状態  
本機の状態



# はじめてお使いになるときは

本機をはじめてお使いになるときは、次の手順に従って操作してください。

## Step1 本機の取り付け・接続と起動確認

本体を取り付け、シガーライター電源ケーブルをアクセサリソケットに接続します。エンジンをオンにして、本機の起動が完了すると、インジケーターが赤色に点滅します。  
→ [「本体の取り付けと接続」](#)

### ⚠ 注意

- 通電されると通信利用が開始されます。付属の UIM カードの通信利用期限は通信利用開始した月 + 23 カ月後の月末となります。すぐにご利用にならない場合は通電しないようにしてください。有効期限が過ぎた後に継続してご利用になる場合は別売の UIM カード (UIM-100) が必要です。

## Step2 docomo in Car Connect の登録とチャージ

お手持ちの iPhone/ スマートフォンを使って、docomo in Car Connect の登録とチャージを行います。→ [「docomo in Car Connect の利用登録とチャージ」](#)

## Step3 本機の再起動

チャージ後は、シガーライター電源ケーブルを抜き差しするか、リセットボタンを 3 秒間押しして本機を再起動します。インジケーターが青色に点灯したら、Wi-Fi 接続できる状態となります。→ [「Wi-Fi ネットワークに接続する」手順 1](#)

## Step4 Wi-Fi 接続

本体の裏側または本書に貼付されているラベルに記載の SSID とパスワードを入力して、スマートフォンなどの Wi-Fi 対応端末を本機に Wi-Fi で接続します。  
→ [「Wi-Fi ネットワークに接続する」手順 2](#)

# 取り付けの前に知ってほしいこと

### ⚠ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

### ⚠ 注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- 必ず車両の備品および運転に支障のない場所に本機を取り付けてください。

両面テープは、一度貼り付けた後に剥がすと粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ず本体を仮留めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

## 取り付けのポイント

### 取り付け、固定する前に

- **まず、仮取り付けと仮接続を行い、本機が正常に起動することを確認してから、取り付けてください。**正常に起動しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

### 両面テープを貼り付ける前に

- 両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

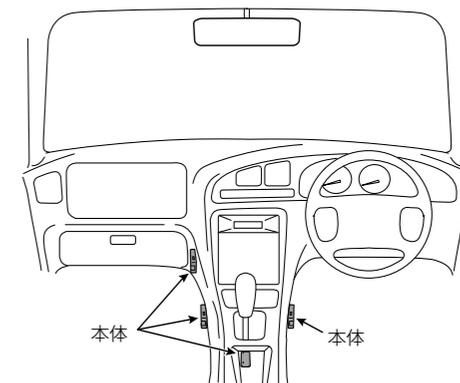
# 本体の取り付けと接続

### ⚠ 取り付け上のご注意

- 湿気が多いときは、取り付け面を乾燥させてから作業を行ってください。
- 取り付け面に水気があると接着力が低下してはがれる恐れがあります。
- 取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。
- 取り付け後に両面テープをはがした場合は、市販の両面テープでしっかりと貼り直してください。
- 作業場所は、空気中にゴミ、ほこりなどが無い場所を選んでください。
- ダッシュボードの上には取り付けしないでください。
- コード類は、運転操作の妨げにならないようかつ乳幼児の手の届かないところに引き回し、テープなどで固定してください。
- エアコンの噴出し口の周辺には取り付けしないでください。
- 可動部には取り付けしないでください。
- 車室外には取り付けしないでください。
- ハンドル下部への取り付けは推奨しません。
- インジケーターが確認できる位置に取り付けてください。
- 通信中は、身体から 2 cm 以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

本体が、進行方向に対してできるだけ水平または垂直になるように取り付けください。正しく取り付けられていないと、Wi-Fi 機能がオンになりません。  
→ [「■ 取り付け向きと角度」](#)

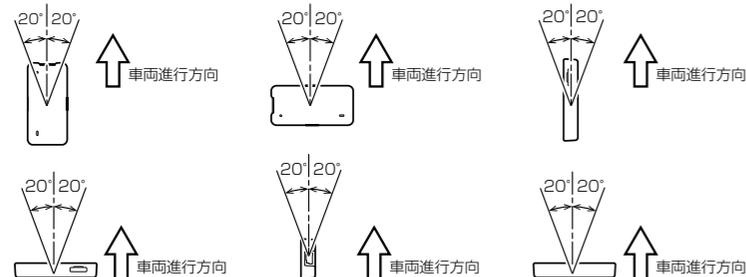
## ■ 推奨取り付け位置



# 本体の取り付けと接続

## ■ 取り付け向きと角度

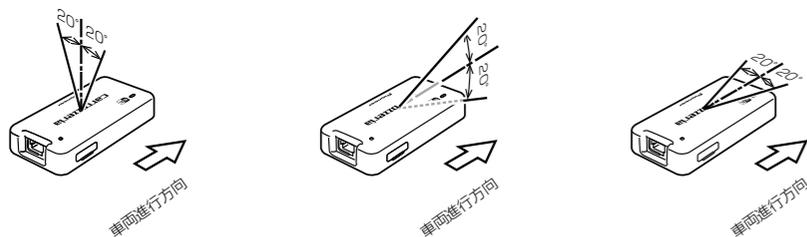
本体が進行方向に対してできるだけ水平または垂直になるように取り付けてください。



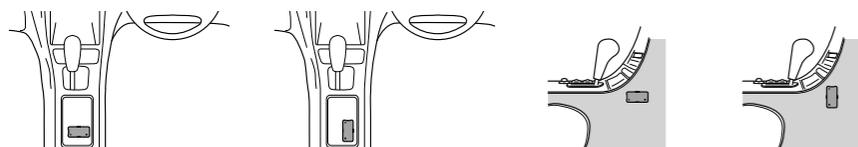
また、本体の取り付け角度は、車両の前後方向（X軸）、左右方向（Y軸）、上下方向（Z軸）を軸にして、それぞれ 20° 以内の角度で取り付けてください。

## ■ 水平置き例

前後を軸（X軸）にした傾き      左右を軸（Y軸）にした傾き      上下を軸（Z軸）にした傾き



## ■ 取り付け例

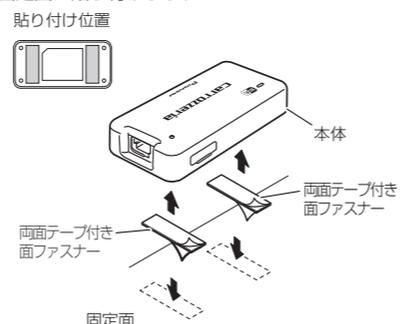


## ■ メモ

- インジケータが前、シガーライター電源ケーブル接続端子が後の位置関係で設置できない場合は、進行方向に対して 180° 逆の向きになるように設置してください。

## 1 本体を取り付ける

本体底面に、両面テープ付き面ファスナーを貼り、固定面に貼り付けます。



## 2 シガーライター電源ケーブルのコネクターを本体に接続する

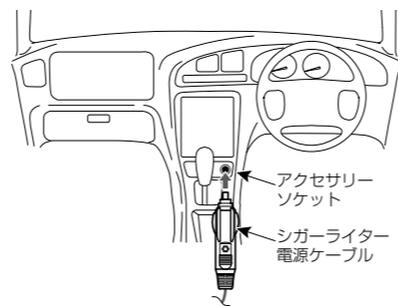


⚠ コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



## 3 車のアクセサリソケットにシガーライター電源ケーブルを挿入する

お車のアクセサリソケットに奥までしっかり押し込んで、確実に接続してください（アクセサリソケットの位置はお車によって異なります）。



⚠ シガーライター使用直後は、アクセサリソケットが高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間をおいて熱が冷めてからシガーライター電源ケーブルを挿入してください。

## 4 起動確認する

取り付けと接続が終わったら、本機が正常に起動することを確認してください。本機は、車のエンジンをオン（ACC ON）にする起動し、起動中は、本体のインジケータが緑色と青色で交互に点滅します。起動が完了すると、本体のインジケータが赤色で点滅します。電源ボタンはありません。

# docomo in Car Connect の利用登録とチャージ

株式会社 NTT ドコモが提供する「docomo in Car Connect」サービスを契約すると、本機をアクセスポイントとして使用でき、本機の通信を利用した機能や、iPhone/スマートフォン、タブレットなどでインターネット通信を利用できます。

ご利用には、本機の接続と、「docomo in Car Connect」サービスの利用登録とチャージが必要になります。

## ■ メモ

- docomo in Car Connect の利用登録には、d アカウントが必要です。あらかじめご用意ください。
- 法人回線に紐づく d アカウントでは使用することはできません。
- d アカウントは、忘れないように本書裏面下部の記入欄に控えておくことをお勧めします。
- 本機をはじめてお使いになるときは、本機を起動してインジケータが赤色で点滅してから docomo in Car Connect の利用登録およびチャージを行ってください。

## 利用登録

1 本体の裏側または本書に貼付されているラベルの 2 次元コードをスマートフォンで読み取り、サイトにアクセスする

## ■ メモ

- 本体の裏側または本書に貼付されているラベルに記載されている ICCID とパスコードを使って、docomo in Car Connect サイト (<https://docomo-icc.com/icc/>) から利用登録することもできます。

2 d アカウントの ID を入力し、[次へ] をタッチする



3 パスワードとセキュリティコードを入力し、[ログイン] をタッチする



4 [上記、利用規約および注意事項に同意する] にチェックを入れ、[次へ] をタッチする



5 内容を確認し、[次へ] をタッチする



6 契約書の送付方法を選び、[お申込内容確認する] をタッチする

ここでは、契約書の送付方法は電子交付を例に説明します。



7 内容を確認し、[この内容で登録する] をタッチする



以上でお申込みは完了です。続けてチャージする場合は、[マイページ] をタッチし、→「チャージ」の手順から操作してください。

## チャージ

1 スマートフォンで docomo in Car Connect サイトにアクセスする

docomo in Car Connect サイト：  
<https://docomo-icc.com/icc/>

2 [ログイン] をタッチする



3 d アカウントの ID を入力し、[次へ] をタッチする



# docomo in Car Connect の利用登録とチャージ

**4** パスワードとセキュリティコードを入力し、[ログイン]をタッチする



マイページが表示されます。

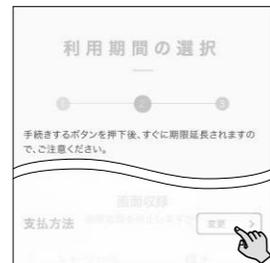
**5** [利用期間を選ぶ]をタッチする



**6** 利用期間を選び、[手続き内容を確認する]をタッチする



**7** 支払い方法の[変更]をタッチする



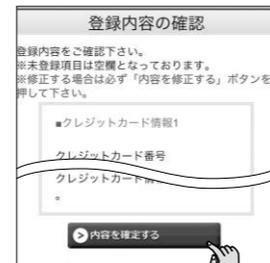
**8** [クレジットカード登録]をタッチする



**9** クレジットカード情報を入力し、[内容を確認する]をタッチする



**10** 登録内容を確認し、[内容を確認する]をタッチする



**11** 使用するカードを選び、[変更する]をタッチする



**12** 内容を確認し、[手続きする]をタッチする



**13** [手続き実行]をタッチする



以上でチャージは完了です。

## ご利用期間の確認

チャージした後に、利用期限を確認できます。

**1** スマートフォンで docomo in Car Connect サイトにアクセスし、ログインする

→ [チャージ] の手順 1～4

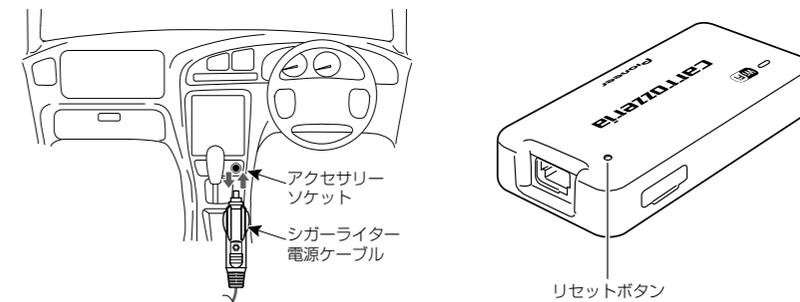
**2** 利用期限を確認する



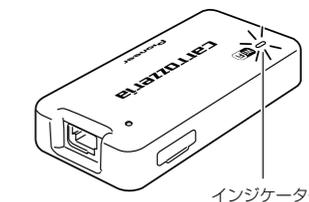
# Wi-Fi ネットワークに接続する

docomo in Car Connect の利用登録とチャージが完了した後は、以下の手順でスマートフォンなどを本機の Wi-Fi ネットワークに接続します。

**1** シガーライター電源ケーブルを抜き差しまたは、リセットボタンを3秒間押して、本機を再起動する

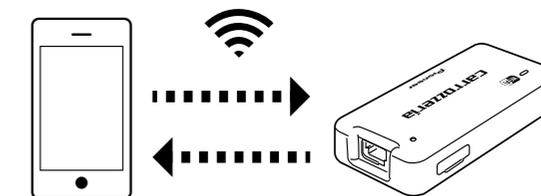


インジケーターが青色に点灯したら、Wi-Fi 接続できます。



**2** スマートフォンなどの Wi-Fi 対応端末を本機の Wi-Fi ネットワークに接続する

本体の裏側または本書に貼付されているラベルに記載の SSID とパスワードを使用して、スマートフォンなどの Wi-Fi 対応端末を本機の Wi-Fi ネットワークに接続します。



# お客様登録と商品登録

**1** 同梱の保証書をお手元に用意する

**2** 「オーナーズリンク」にアクセスする

オーナーズリンク：  
<https://car-users.pioneer.jp/>

**3** 「新規お客様登録」をクリックする



利用規約が表示されます。

**4** 利用規約を確認し、内容にご同意いただける場合は「同意する」をクリックする



**5** メールアドレスをお客様 ID として登録する



登録したメールアドレスにお客様情報の登録依頼メールが届きます。

## メモ

- この時点ではまだ登録は完了していません。
- メールに記載された URL は、メール受信後 24 時間以内のみ有効です。24 時間過ぎると、URL をクリックしても「有効期限が切れました」と表示され、再申請が必要になります。
- メールが届かない場合、ご利用のセキュリティソフトやメールソフトに迷惑メール防止機能が付いていると、迷惑メールフォルダーやゴミ箱に自動的に振り分けられた可能性がありますのでご確認ください。

**6** メールに記載された URL にアクセスする

**7** 画面に従ってお客様情報を入力します

**8** 入力が終わったら「内容確認」をクリックする



登録内容確認画面が表示されます。

**9** 登録内容を確認し、問題がなければ「登録」をクリックする



以上でお客様登録は完了です。引き続き商品登録を行います。

**10** 「商品を登録する」をクリックする



**11** 商品の型番を入力して検索を行うか、もしくは商品を絞り込んで検索を行う



**12** お使いの商品が表示されたらチェックをつけ、画面下の「次へ」をクリックする



**13** 「この商品を登録する」をクリックする



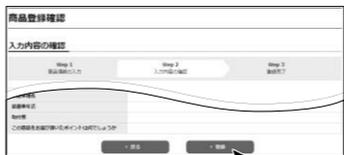
**14** 保証書に記載されている「製造番号（アルファベットと数字の 12 桁）」と、「CW:」の後ろに記載されたアルファベット 1 文字を入力する



**15** 以降の情報を入力し「確認」をクリックする



**16** 入力した内容を確認し、問題がなければ「登録」をクリックする



登録完了画面が表示され、登録が完了します。以上で、お客様登録と商品登録は終了です。

# 有効期限と利用期間の確認

お客様登録と商品登録が完了すると、オーナーズリンクでドコモ UIM カードの有効期限と docomo in Car Connect のご利用期間の確認ができます。

**1** 「オーナーズリンク」にアクセスする

オーナーズリンク：  
<https://car-users.pioneer.jp/>

**2** お客様 ID（メールアドレス）とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックする



**3** 「お客様登録商品情報」をクリックする



**4** 登録した本製品をチェックし、「次へ」をクリックする



**5** UIM 有効期限とご利用期間を確認する



## メモ

- 登録商品ページの「デバイスナンバー」と、本体の裏側または本書に貼付されているラベルに記載されている「パスコード」は同じ番号です。
- 利用期限引継ぎ中は、ご利用期間は表示されません。
- 本体に装着している UIM カードの有効期限は、アクセサリソケットに接続してエンジンをオンにした月 + 23 カ月後の月末です。

# SSID/パスワードの変更とリセット

## SSID/パスワードの変更

Wi-Fi 接続時に使用する SSID、パスワードは本体の裏側または本書に貼付されているラベルに記載されています。この情報を第三者に見られて、不正アクセスされる可能性がある場合は、SSID、パスワードを変更してください。

**1** スマートフォンなどの Wi-Fi 対応端末を起動し、本機と Wi-Fi 接続する

**2** Wi-Fi 対応端末で Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.0.1/」と入力する

**3** ログインパスワードを入力し、「ログイン」をタッチする

初期ログインパスワードは [123456] です。



## メモ

- ログインパスワードは、「設定」タブ → 「デバイス設定」 → 「アカウント管理」で変更できます。

**4** 「設定」タブをタッチする



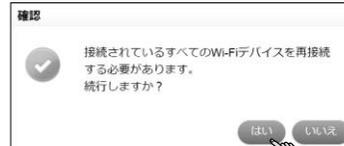
**5** 画面左側のメニューから「Wi-Fi 設定」をタッチする



**6** 「SSID」領域で、「ネットワーク名 (SSID)」と「パスワード」に新しいネットワーク名とパスワードを入力し、「適用」をタッチする



**7** メッセージを確認し、「はい」をタッチする

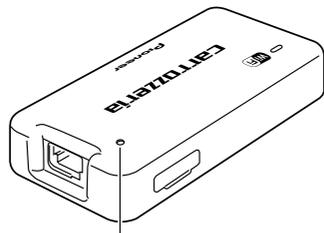


設定が有効になります。Wi-Fi を接続し直してください。

# SSID/パスワードの変更とリセット

## SSID/パスワードのリセット

SSID/パスワードは、リセットボタンを10秒間長押しすることでリセットできます。



リセットボタン

### メモ

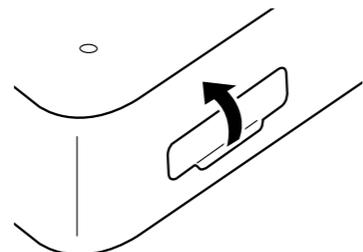
- ログインパスワードも同時にリセットされます。

# 付属のUIMカードの利用期限を迎えたら

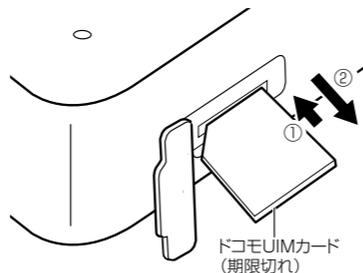
本体に装着しているUIMカードの有効期限は、アクセサリソケットに接続してエンジンをオンにした月+23カ月後の月末です。  
有効期限が過ぎたら別売のUIMカード(UIM-100)をご購入いただくと継続的にご利用いただけます。更新用UIMカード(UIM-100)はこちらからご購入いただけます。  
[https://shop.mapfan.com/category/WR/UIM\\_100.html](https://shop.mapfan.com/category/WR/UIM_100.html)

- アクセサリソケットに本体が接続されている状態で、ドコモUIMカードの取り付けまたは取り外しをしないでください。故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを取り付けまたは取り外しをするときは、両手で持って行ってください。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けようとしていたり、取り外そうとすると、ドコモUIMカードが破損する場合があります。
- 取り外した期限切れのドコモUIMカードは新旧判別できるように管理してください。
- 更新用UIMカードを交換後は、必ず起動確認を行ってください。→「本体の取り付けと接続」

## 1 カードスロットカバーを開ける

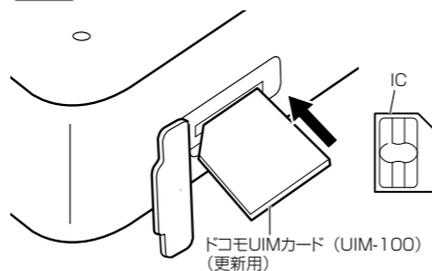


## 2 期限切れのドコモUIMカードを“カチッ”と音がするまで押し込んで放してから(1)、まっすぐ引き抜く(2)



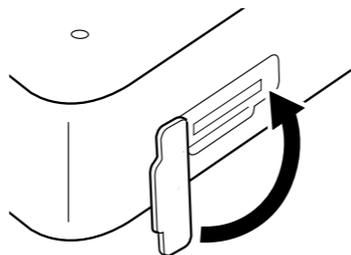
ドコモUIMカード(期限切れ)

## 3 更新用ドコモUIMカード(UIM-100)のIC面を下にして、矢印の方向に差し込む



ドコモUIMカード(UIM-100)(更新用)

## 4 カードスロットカバーを閉める



# 更新用UIMカード(UIM-100)交換後の手続き

更新用UIMカードの交換後は、本機を起動してインジケータが赤色で点滅してから docomo in Car Connect への利用登録およびチャージを行う必要があります。  
UIMカード交換後に本体をアクセサリソケットに接続してエンジンオンすると有効期限が決定します。有効期限はエンジンオンした月+23カ月後の月末です。  
docomo in Car Connectのご利用期間が残っている場合は、ご利用期間の引き継ぎを行うことができます。

## 1 本体の裏側または本書に貼付されているラベルの2次元コードをスマートフォンで読み取り、サイトにアクセスする

### メモ

- 本体の裏側または本書に貼付されているラベルに記載されているパスコードと更新用UIMカードに記載されている番号の先頭に「8981」を付与したものを使って、docomo in Car Connect サイト (<https://docomo-icc.com/icc/>) から利用登録することもできます。

## 2 dアカウントのIDを入力し、[次へ]をタッチする



## 3 パスワードとセキュリティコードを入力し、[ログイン]をタッチする



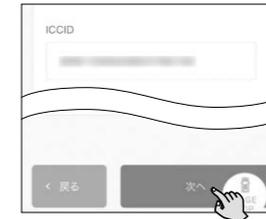
### メモ

- 引き継ぎ元のドコモUIMカード(UIM-100)をご利用時に登録したdアカウント以外のアカウントでは、ご利用期間の引き継ぎができません。

## 4 [上記、利用規約および注意事項に同意する]にチェックを入れ、[次へ]をタッチする



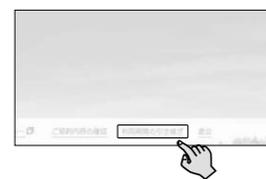
## 5 ICCIDを、更新用UIMカードに記載されている番号の先頭に「8981」を付与したものに變更し、[次へ]をタッチする



## 6 画面の指示に従って登録を完了し、マイページを表示する

→「docomo in Car Connectの利用登録とチャージ」-「利用登録」の手順6～7

## 7 マイページ下部の[利用期間の引き継ぎ]をタッチする



## 8 引き継ぎ元のICCIDと引き継ぎ先のICCIDを選択し、[次へ]をタッチする



## 9 [期間を引き継ぐ]をタッチする



## 10 [期間を引き継ぐ]をタッチする



## 11 [マイページへ]をタッチする



マイページが表示されます。

## 12 【機器交換後の利用期限引き継ぎ中】と表示されていることを確認する



# 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、下記内容をご確認ください。

症状	原因	対処
Wi-Fi 機能が有効にならない。	docomo in Car Connect サービスが有効でない。	docomo in Car Connect サービスへの加入（利用登録、チャージ）を行ってください。
	UIM カードの有効期限が終了している。	別売の更新用 UIM カード（UIM-100）をご購入の上、差し替えて通信後に docomo in Car Connect サービスの更新手続きを行ってください。
チャージしても、Wi-Fi 機能が有効にならない。	●サーバーとの同期に時間がかかっている。または電波受信状況が悪く、同期がうまくできていない。	●しばらくしてからご確認ください。 ●電波受信状況の良い場所でご確認ください。
チャージしても、サービス利用期限が更新されない。	●サーバーの状況をご確認ください。 ●本体を進行方向に対して、できるだけ水平または垂直に取り付けてください。→ <a href="#">[本体の取り付けと接続]</a>	
Wi-Fi 機能は有効になっているが、スマートフォンからつながらない。	接続できるデバイス数の上限を超えている。またはネットワーク名（SSID）、パスワードが正しくない。	●本機に Wi-Fi 接続できるデバイスの上限は 5 台です。 ●本機のネットワーク名（SSID）、パスワードの設定に間違いがないかご確認ください。 ●接続するデバイス側の Wi-Fi 設定に間違いがないかご確認ください。
Wi-Fi 機能が有効にならない。	車両が停車のまま一定時間が経過した。	走行を開始してください。
	停車中に本体に衝撃が加わった。	
	車外に本製品を持ち出した。	取り付け上のご注意を確認の上、車両に両面テープ付き面ファスナーを用いてしっかりと固定してから、走行を開始してください。
	エンジンがオフになっている。	エンジンをオンにして、本機の電源をオンにしてください。

# 比吸収率（SAR）について

**この機種「DCT-WR100D」は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。**

本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本機に対する SAR の許容値は 2.0 W/kg です。取扱説明書に記述する通常使用の場合、本機の SAR の最大値は 0.85 W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。本機は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、本機の出力は小さくなります。

通信中は、身体から 2 cm 以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

## 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

## 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規制第 14 条の 2）で規定されています。

# 商標・著作権など

- 本機は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- 「docomo in Car Connect」[d アカウント] は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- 参照している NTP サーバーは、インターネットマルチフィード株式会社提供のもので、<https://www.mfeed.ad.jp/ntp/>

# 仕様

全般	電源電圧	DC12 V/24 V（専用シガーライター電源ケーブル付属）
	消費電力	1.2 W（typ）（12 V 入力時）
	動作温度	-10 ℃ ～ +60 ℃
	動作時湿度	90% 以下
	UIM カード	nanoUIM
	外形寸法	91.5 mm × 16 mm × 44.5 mm（幅 × 高さ × 奥行）
Wi-Fi	本体質量	50 g（電源ケーブルなどを除く）
	取付推奨角度	0° ～ 20°
	対応規格	IEEE 802.11 b/g/n（2.4 GHzのみ）
	対応チャンネル	1 ～ 13 ch
LTE	セキュリティ方式	OPEN/WEP/WPA Personal/WPA2 Personal（TKIP/AES）/WPA3 Personal
	最大同時接続台数	5 台
	対応バンド	Band1、Band3、Band19
	通信速度	受信最大 150 Mbps（ベストエフォート方式） 送信最大 50 Mbps（ベストエフォート方式） ※通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

オーナーズリンク お客様 ID（メールアドレス）

オーナーズリンク パスワード（8 ～ 32 文字 半角英数字）

SSID（変更した場合に、記入してください）

パスワード（変更した場合に、記入してください）

d アカウント

使用開始日

ラベル貼付欄

本機の使用を中止される場合等は、リセットボタンを 10 秒間長押しして SSID/パスワードを初期化してください。オーナーズリンクのお客様登録および商品登録もあわせて退会し、上記の情報を破棄してください。